



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本ルツボ株式会社

コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 坂本 信治

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,786	△0.5	282	△6.6	277	0.2	119	△41.5
23年3月期第3四半期	5,814	21.4	302	—	276	—	203	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 119百万円 (△36.9%) 23年3月期第3四半期 189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.77	—
23年3月期第3四半期	15.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,975	2,830	31.3
23年3月期	9,705	2,753	28.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,811百万円 23年3月期 2,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	△2.4	360	2.9	320	△1.2	170	△29.5	12.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	14,090,400 株	23年3月期	14,090,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	570,148 株	23年3月期	569,855 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,520,311 株	23年3月期3Q	13,520,745 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は発表日時点において入手した情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後発生する様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「連結業績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ生産活動は回復してまいりましたが、タイの洪水の影響、欧州債務問題に端を發した世界的な景気の減速、急激な円高の影響等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主な取引先である自動車関連産業は東日本大震災の影響は解消しつつありますが、タイの洪水の影響で減産を余儀なくされ、また円高により輸出が大きく減少するなど厳しい状況におかれております。鉄鋼産業は円高の影響で輸出採算が悪化したため、一部減産を余儀なくされるなど厳しい状況におかれております。

このような環境の中、当社グループは積極的な販売活動を展開するとともに、経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、このような厳しい状況下ではありましたが当第3四半期連結累計期間の売上高は57億8千6百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は2億8千2百万円（前年同四半期比6.6%減）、経常利益は2億7千7百万円（前年同四半期比0.2%増）、四半期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の一部取崩もあり1億1千9百万円（前年同四半期比41.5%減）となりました。

①事業の分野別業績

鑄造業界向けでは、自動車をはじめとする輸送関連産業が震災の影響からほぼ回復してまいりましたが、タイの洪水の影響や円高による輸出減少で生産高が減少するなか、積極的な販売活動を展開したことにより、売上高は32億6千4百万円（売上高比率56.4%）と前年同四半期比1.3%増加いたしました。

鉄鋼業界向けでは、円高による輸出減少で生産量が伸び悩むなか、シェアの維持拡大に努めたことにより、売上高は10億1千9百万円（売上高比率17.6%）と前年同四半期比4.0%増加いたしました。

溶解炉・環境関連市場向けでは、焼却炉工事等の受注に努めたことにより、売上高は9億3百万円（売上高比率15.6%）と前年同四半期比2.0%増加いたしました。

海外市場向けでは、円高の影響により輸出が減少したことにより、売上高は4億2千2百万円（売上高比率7.3%）と前年同四半期比では23.8%減少いたしました。

不動産賃貸事業では、売上高は1億7千8百万円（売上高比率3.1%）と前年同四半期比2.3%増加いたしました。

②セグメントの業績

セグメント別では、耐火物等事業の売上高は46億4千9百万円（売上高比率80.3%）と前年同四半期比0.2%減少し、営業利益は4億8千1百万円と前年同四半期比4.6%減少いたしました。エンジニアリング事業の売上高は9億6千3百万円（売上高比率16.6%）と前年同四半期比3.1%減少し、営業利益は2千7百万円と前年同四半期比8.2%減少いたしました。不動産賃貸事業の売上高は1億7千8百万円（売上高比率3.1%）と前年同四半期比2.3%増加し、営業利益は1億8百万円と前年同四半期比16.9%増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比5億7千4百万円（8.5%）減少し、61億8千3百万円となりました。主なものは、現金及び預金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比1億5千6百万円（5.3%）減少し、27億9千2百万円となりました。主なものは、有形固定資産の減価償却によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、全体で前連結会計年度末比7億3千万円（7.5%）減少し、89億7千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比4億3千万円（9.1%）減少し、42億8千4百万円となりました。主なものは、短期借入金の返済及び未払法人税等の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比3億7千7百万円（16.9%）減少し、18億6千1百万円となりました。主なものは、長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比7千8百万円（2.8%）増加し、28億3千万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は31.3%（前連結会計年度末は28.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想については、平成23年11月11日の平成24年3月期第2四半期決算発表時点の予想を変更しておりません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示する予定です。